

2023年1月22日

## 主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒479番 (SK 姉)

『神なく望みなく』

聖書⇒ヨハネによる福音書 15:5、7、9 節 (MM 姉)

『わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。』

あなたがたがわたしにつながっており、わたしの言葉があなたがたの内にもいつもあるならば、望むものを何でも願いなさい。そうすればかなえられる。

父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛してきた。わたしの愛にとどまりなさい。』

礼拝讃美歌⇒424番

『主の愛のながうちに』

聖書⇒マタイによる福音書 6:30~34 節 (SK 兄)

『今日は生えていて、明日は炉に投げ込まれる野の草でさえ、神はこのように装ってくださる。まして、あなたがたにはなおさらのことではないか、信仰の薄い者たちよ。だから、『何を食べようか』『何を飲もうか』『何を着ようか』と言って、思い悩むな。それはみな、異邦人が切に求めているものだ。あなたがたの天の父は、これらのものがみなあなたがたに必要なことをご存じである。何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて与えられる。だから、明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。その日の苦労は、その日だけで十分である。』

(祈)

礼拝讃美歌⇒346番 (旧 144 番)

『いざ誉め讃えよ』

《パン裂き》

聖書⇒詩編 23 編 (KH 兄)

『【賛歌。ダビデの詩。】主は羊飼ひ、わたしには何も欠けることがない。

主はわたしを青草の原に休ませ／憩いの水のほとりに伴い

魂を生き返らせてくださる。主は御名にふさわしく／わたしを正しい道に導かれる。

死の陰の谷を行くときも／わたしは災いを恐れない。あなたがわたしと共にいてくださる。あなたの鞭、あなたの杖／それがわたしを力づける。

わたしを苦しめる者を前にしても／あなたはわたしに食卓を整えてくださる。わたしの頭に香油を注ぎ／わたしの杯を溢れさせてくださる。

命のある限り／恵みと慈しみはいつもわたしを追う。主の家にわたしは帰り／生涯、そこにとどまるであろう。』

(式)

礼拝讃美歌⇒151 番 (旧 216 番)

『ああ主よわれら』

《建徳》

聖書⇒ヨハネによる福音書 1:14~17 節 (KH 兄)

『言は肉となって、わたしたちの間に宿られた。わたしたちはその栄光を見た。それは父の独り子としての栄光であって、恵みと真理とに満ちていた。ヨハネは、この方について証しをし、声を張り上げて言った。「『わたしの後から来られる方は、わたしより優れている。わたしよりも先におられたからである』とわたしが言ったのは、この方のことである。」**わたしたちは皆、この方の満ちあふれる豊かさの中から、恵みの上に、更に恵みを受けた。**律法はモーセを通して与えられたが、恵みと真理はイエス・キリストを通して現れたからである。』

聖書⇒ヨハネによる福音書 1:10~11 節

『言は世にあった。世は言によって成ったが、世は言を認めなかった。言は、自分の民のところへ来たが、民は受け入れなかった。』

聖書⇒エフェソの信徒への手紙 5:20 節 (NH 兄)

『そして、いつも、あらゆることについて、わたしたちの主イエス・キリストの名により、父である神に感謝しなさい。』

聖書⇒コロサイの信徒への手紙 3:15~17 節

『また、キリストの平和があなたがたの心を支配するようにしなさい。この平和にあずからせるために、あなたがたは招かれて一つの体とされたのです。いつも感謝していなさい。キリストの言葉があなたがたの内に豊かに宿るようにしなさい。知恵を尽くして互いに教え、諭し合い、詩編と賛歌と霊的な歌により、感謝して心から神をほめたたえなさい。そして、何を話すにせよ、行うにせよ、すべてを主イエスの名によって行い、イエスによって、父である神に感謝しなさい。』

聖書⇒テサロニケの信徒への手紙一 5:16 節

『いつも喜んでいなさい。』

聖書⇒コリントの信徒への手紙一 15:57 節

『わたしたちの主イエス・キリストによってわたしたちに勝利を賜る神に、感謝しよう。』

礼拝讃美歌⇒127 番（旧 211 番）（SK 兄）

『十字架の許ぞ』

《建徳要旨》